

東和地域支援通信

令和7年1月15日号

新年あけましておめでとうございます

発行: 東和総合支所
地域振興課地域づくり係
〒028-0192
東和町土沢8区60
電話 0198-41-6514(直通)
FAX 0198-42-3605

市内
消防団
初

土沢第三行政区自治会館併設 消防団第18分団第2部屯所

シャッターアート まちなかに登場

高めよう防災意識 伝えよう子ども達の思い



昨年12月14日(土)消防団第18分団第2部屯所に「シャッターアート」が描かれました。消防団第18分団第2部は今年度第43回岩手県消防操法競技会に花巻地区支部代表としてポンプ車の部に出場。今回、消防団活動のさらなるPRを図るとともに「アートの街つちざわ」を盛り上げることを目的に、老朽化していた屯所シャッターを更新する機会に合わせてシャッターアートが実施されました。土沢まつり関係の有志が考案したイラストをプロジェクターで投影し、消防団員が黒ペンキで線画を描き、小学生や消防団員、地元自治会役員等がペンキで色付けしました。このシャッターアートは東和総合支所南側から土沢駅方面へ進んでもなくの位置にあり、土沢のまちなかの防火・防災意識を高める役割として存在感を放っています。

第3回 東和の伝統工芸講座「成島和紙 紙すき体験で手づくりハガキを作ろう」を開催しました

昨年12月15日(日)東和総合支所にて、地域おこし協力隊赤津有美さんによる紙すき体験講座を開催しました。はじめに水でふやかした牛乳パックを細かくちぎり、それをミキサーにかけ、木枠ですいたらアイロンで乾かして完成です。一つ一つの作業が思いのほか難航し、皆さん苦戦しながらも最後には思い思いの模様が入ったハガキを完成させました。参加者からは「楽しく体験ができました」「また機会があったら参加したい」などの感想をいただきました。



第1回 歴史講座「東和の子安神、農神、そして～石碑と御堂から探る祈りと信仰～」を開催しました

昨年12月17日(火)東和総合支所にて、東和の歴史と文化財を学ぶ会 平野会長を講師に迎え、第1回東和の歴史講座を開催しました。これまで歴史移動学習で東和町内を巡ってきたことを踏まえ、子安神、農神、さらに存在する様々な神について解説いただきました。参加者からは「東和の民間信仰が多岐に渡っていることがわかった」「神社や石碑を身近に感じる事ができた」などの感想をいただきました。第2回は1月30日(木)午前10時より東和コミュニティセンター多目的ホールにて開催します。詳しくはチラシまたは有線放送をご確認ください。



令和7年1月東和地域行事予定表

	日	曜	時刻	行事名	場所
市民サービス課	7	火	10：00	民生委員児童委員協議会1月定例会	東和総合福祉センター
	10	金	10：00	市民生活相談	支所第3会議室
			13：00	交通指導隊初出動式	なはんプラザ
	14	火	15：30	防犯パトロール	町内
	28	火	15：30		
芸術文化協会	26	日	9：00	躍動する芸能まつり	東和総合福祉センター
生涯学習	10	金	9：30	第9回東和おとな大学「地域おこし協力隊活動報告」	支所第1会議室
	30	木	10：00	第2回東和の歴史講座「曹洞宗・凌雲寺と達磨絵の霊戒和尚」	東和コミュニティセンター
地域振興課 地域づくり係	12	日	10：00	花巻市消防団出初式	花巻市文化会館
	17	金	9：30	市長との対話	支所市長執務室
東和小学校	20	月		始業式	東和小学校
東和中学校	14	火		始業式	東和中学校

	日	曜	時刻	行事名	
萬鉄五郎記念美術館・八丁土蔵				年末年始による休館(～1/3)	
	4	土		東和モンパルナス(～2/24)	
東和図書館	4	土		企画図書展「冬休みにおすすめの本&冬の本」展(～2/2)	
				テーマ図書展「ロングセラーの絵本」展(～3/2)	
	11	土	10： 30	冬休み巡回こども映画会「ふしぎ駄菓子屋銭天堂4巻2話・トムとジェリー2話」	
	15	水		あやめ号運行(小山田、成島、土沢方面)	
	16	木		あやめ号運行(谷内、田瀬、倉沢、浮田方面)	
	26	日	14： 00	日曜くつろぎの映画会「ふたりの旅路」	
		休館日		年末年始(～1/3) 月曜日 6日、13日、20日、27日	

躍動する芸能まつり開催のお知らせ（延期後）

日時：令和7年1月26日（日）午前9時開会 午前9時15分開演
会場：東和総合福祉センター ＜入場無料＞

インフルエンザの流行に伴い延期となっていた標記芸能まつりを上記の日程で開催します。
東和の郷土芸能を担う子どもたちの活動の成果をぜひご覧ください。

今月のひとこと

1月 おせちでおとそ気分

「おとそ気分」という言葉が正月の浮かれ気分全般を表すというイメージから、「おとそ」＝「正月のおめでたい雰囲気」と思っていました、「御屠蘇」は数種類の生薬を使った縁起物の酒のことだそうです。今まで意味をよく知らずに「おとそ気分」という言葉を使っていたことを知りました。

正月と言えばおせち料理。漢字で書くと「御節料理」。おせつ料理とは読まないのか…と思いながらもこれはそういうものだからとひとまず納得。しかし「節」という漢字を「せち」と読むことに違和感が残ります。ネットで調べると節という字単独での読み方は「せつ」「せち」「ふし」「ノット(?)」「みさお」と出てきます。ノットはさておき、どうやら「せち」というのも正式な読み方の一つではあるようです。

「節」を含む言葉一覧の中で「せち」と読むものは「おせち」のほかに「節楯（せちほだ）」という言葉があって、「正月にいろりで燃やす丸太ほどの太さの薪」だそうです。私は見たことも聞いたこともない言葉です。これは「せち」はほとんど「おせち」のためだけに存在する読み方と言ってもよいのではないのでしょうか。ではなぜ「せつ」ではなくて「せち」なのか？

「節」は「體」の異体字であるという情報も見かけました。しかし「せち」の読み方の由来とはつながりません。大抵の場合変わった読み方の言葉はネットですぐ見つけることのできる由来があるものですが、「せち」はわかりません。ご存じの方がいましたら教えてください。（伊藤）